【入院診療計画書:経尿道的膀胱結石砕石術の手術を受ける患者様へ】

ID

【病名	膀胱	始 右症]						氏名		様
【 特別	」な栄養管理の必要	要性 : ✓ あり	□なし	※当院では、栄養士	上より全ての	つ入院患者様の栄養評価	を行い	・必要に応じて	栄養指導させて	こ頂いておりま	す。
【 栄養	計画	: 🗸 食ありの	場合→院内	1約束食事箋に基づき適切	りな栄養管理	に努めます。 🗌 食止めの場合	→絶飲2	食の為の輸液管理	惺を行い適切な栄養	管理に努めます。]
【 総合	り機能評価 : □あり ☑なし ※総合的機能評価を行う場合の評価結果は別紙にてご説明させて頂きます。										
注:病名/入院期間等は、現時点で考えられるもので検査や治療、病態により変更となる場合がありま											
経過	手術前日	手術当日		手術前		手術後			翌日	手術2日	後(退院)
日時	月日月日					月日		月	月	B	
		れが理解できる。				□疼痛が痛みの評価NI		□尿を出す管		□入院時の	
	口手術に対する不明点を尋ねることができる。					以下、フェイススケール5以゙	-	排尿があり、死	· · · ·	動作状態(
目標	□不安が最小限で、手術を受けることができる。					なるようコントロールできる		以下になる。		を用いて)で	
						口血尿が比色2以下にな	4 の。	□退院にむけ		ことができる	ତ ି
	□手術前日の21時以降は食事不可(禁酒)です。					最小限ですごせる。					
食事	山子	□全身麻酔の場合術後3時間程度で、症状に合わせて飲水食可となります。 □腰椎麻酔の場合足が動くようになれば飲食水可とります。									
 検査	数水はヨロ(<u>,割/ヤ</u>	ノー(よれいよい)	支が円とりより	<u> </u>					
快旦	 □手術が決まった	<u>┃□レントゲンをとり結</u> :ら禁煙しましょ う 。		_{ンまり。} 装飾品、湿布などは:	مارا ا	□膀胱に溜まった尿を目		□朝6時に膀胱	光に溜まった	□薬剤師より	/退院時
治療処置		この赤柱しよしよう。		に着替えます。	710	に出す管が入っていま		尿を出す管を		処方の説明	
					室時には	□結石と血尿の有無を		口指定された		ます。	,1,0 0,5 ,
				着用します。		確認します。			。結石の有無		
				防のために弾性スト	〜ッキング	□点滴が継続します。			が詰まらずに		
			を着用し			抗生剤の点滴がありま		出ているか研			
				に熱と血圧を測ります。 開始します。		口熱と血圧を測ります。		口抗生剤の点			
								す。終了後抜			
						口合自広勘の担合 作		□熱と血圧を》 □看護師と歩		 	
	口制限はありません。					□全身麻酔の場合、術行 時間はベッド上安静で		□ 信護師と歩 ^ん 問題なければ			
安静度						口腰椎麻酔の場合、足		自立となりま		口制限はありません。	
						けば座位が可能です。					
	□手術前日までに入院・手術のオリエンテーションを					□手術後に手術室で説		□ 退院後 入	谷可。(症状に)	より変更あり)
説明指導	します。					あるため、ご家族も一緒に □次回の外来は、約2週間前後です。					,
	口内服に関して					お迎えに行きます。 予約表をお渡ししますのでご確認下さい。					١,
	•休薬()					□退院時間は午前10~11時になります。					
	・朝の内服は必ずいつも通り飲んで下さい。					□退院後に発熱/痛み/血尿など症状の増強が出現					
					した場合やご不明な点は、泌尿器科外来まで						
	口男性はひげを剃ってきて下さい。					お問い合わせ下さい。なお、診療時間外は救 外来で対応させて頂きます。				トは救急	
	□お化粧/マニュキュア類はしないで下さい。 □全身麻酔の方はどなたか付添いをお願いします。						1 I	外米で対応	なるぼりから	0	
	□手術時は送迎、公共の交通機関で来院して下さい。						<i>®</i>				
上記。		ハて十分な説明を受け					<u> </u>	(西暦)	年	月	日
	人/親族				<u>'</u>						
	大理人(続柄)			説明医師		印	訪	胡看護師			